

# ミュートを外す勇気



海外  
体験記

理工学部 理工学科 1年

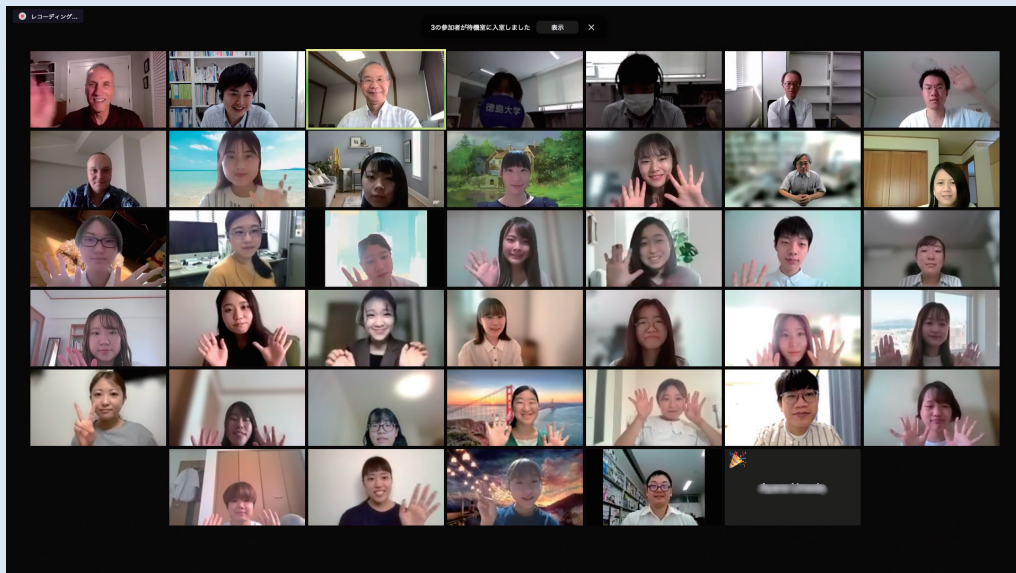
伊藤 沙緒子 (いとう さおこ)

留学先：南伊利ノイ大学・アメリカ合衆国

今回のオンライン留学では、オンラインならではの学びを体験し新しい気づきを得ること出来ました。そして、英会話を学ぶだけでなく現地での留学よりもオンライン留学の方が良いのでは!?とも思うようになりました。

オンライン留学を始める前は、

将来留学する希望を叶えるための準備程度に考えていました。海外に行けば、現地の雰囲気を感じたり、その国の文化も合わせ学ぶことが出来ますが、オンライン留学では日常生活との切り替えが難しいのではないかとという心配もありました。



オンライン留学生交流会の様子

オンライン留学が始まってしばらく経った頃から、オンラインでこそ、英語によるコミュニケーション能力が問われる〴〵というところを感じ始めました。そして自分の力不足を痛感しました。オンラインの留学では、勇気を出してミュートを外して話し出さないと始まりません。そして、積極的に発言しないと指名されるまで黙っているだけでは発言の機会が得られません。しかし、英語を聞き取るとのがやつとであればあるほど話すのが怖くなってきます。

さらに、話し始めるとみんなが聞いてくれるので、正しい文法で、正しいことを言わなければならないというプレッシャーでさらに話し始める勇気を持つことができませんでした。最初の方はうまく伝えられずたくさん悔しい思いをしました。が留学先の現地の先生方にもサポートしていただき、英語が堪能な海外の友人たちのアドバイスを真似しながら、少しずつですが、英語を聞き取り、さらに自分の思ったことを伝えられるようになりました。(オンラインなので途中で辞書を引くこともできました笑)そして私がこの留学を通してもう一つ学んだことは、画面の中で伝える力です。対面で会話する場合、分からない時、下を向いて

誤魔化したり、指で指示したりと言語化せずに伝えることが出来ます。しかし、パソコンの画面の中でできるジェスチャーは限られているので、伝えたいことを言葉にしないと伝わりません。私はより簡単な例を出しながら説明することで、自分の思っていることを相手に伝える努力をしました。

このオンライン留学をやってみて、現地に行くだけが留学ではなく、この時代だからこそできる学びの形があるのだなと思いました。今回この留学の機会をくださった両親や先生方に感謝しています。ありがとうございます。

## 伊藤さんが活用した制度はこちら

### グローバルパーソン集中プログラム

(GRIP: Global person Resources Intensive Program)

自国及び他国の文化・歴史を理解し、外国語による高いコミュニケーション能力を持って、多様な人と協働できる「グローバルパーソン」の育成を目的とする集中プログラム。伊藤さんはこのプログラム(GRIP)の1期生として、オンライン留学に参加しました。GRIPの内容は、毎回変わりますが、1期生は以下のような内容でした。

- 英会話集中講座 ●グローバル講演会 ●アメリカ・南伊利ノイ大学(SIU)と共同で開発する4週間のオンライン留学への参加 ●日本語文化講座

GRIP修了者には、南伊利ノイ大学のオンライン留学費用等全額相当分(約6万円)を支給。